

## 介護予防事業の重点的な取組みの方向性（案）

市で書き込んでくださる予定

介護予防の課題	今後の方向性	
	委員の意見	市の考え
①啓発について ・ 介護予防事業に関するPR不足	<ul style="list-style-type: none"> <li>介護予防、かかりつけ医などのPR不足</li> <li>PR方法として、「おたっしゃ21ニュース」などの発行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ビデオ、民生委員、在支職員などを通じて介護予防のPRを積極的に行う</li> </ul>
②人材育成について ・ 介護予防の担い手の育成と活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>介護予防コーディネーターの職種は看護師など多職種いるとよい</li> <li>介護予防コーディネーターの役割が重要。医療、介護、地域のことともわかっている必要がある。キーパーソンがいればあとは地域でどう推進していくかである</li> <li>介護予防コーディネーターは福祉面のほか体力増強のノウハウを持った人材が必要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>介護予防コーディネーターは在支の職員。資格はとくにない</li> </ul>
③地域展開のあり方について ・ 地域ニーズの掘り起こしが困難 ・ 継続的に介護予防に取り組むしくみづくりが必要	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域活動に参加しない人、「おたっしゃ21」に来ない人、家族のいない人などを掘り起こし、介護予防を行うことが効果的だと思う</li> <li>いかに「おたっしゃ21」を受け取る人を増やすか、その後はプログラムにどうのせるかである。継続してもらうために「地域通貨」などPRするものがあるとよい</li> <li>介護予防は大きなところに集まって一斉に行うイメージがあるが、一人ひとりの到達点が異なるので、きめ細かい視点が必要</li> <li>いきいきプラザは立派な中核拠点だが、そこまで行かれない人のためにランチをつくるのかという検討が必要</li> <li>屋外でも体力増強が図れる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>介護予防で「おたっしゃ21」は入口の部分、最後まで行き着かなければ意味がないので、そのための仕掛けを検討したい</li> <li>節目健診に加え、出張健診を行うことも考えている</li> </ul>